

現計画の進捗状況（基本目標 1・2 の一部を抜粋）

基本目標 1

「福祉意識の向上と高齢者の社会参加による健康・生きがいつくり」の実績

（１）地域福祉の推進

◆地域福祉ポイント制度 ＜福祉施策課＞

市内での市民活動の推進、きっかけづくりとなるよう、市民活動に参加した人に対してポイントを付与し、貯まったポイントを、交換品に換えることができるポイント事業として「ながくて地域スマイルポイント事業」を平成 28 年 4 月から開始しました。ポイントの対象となる活動は、市が主催する行事、福祉施設での活動のみとしていましたが、平成 29 年 1 月から、市民団体が自主的に実施する奉仕活動も対象となるように拡大しました。活動に参加してポイントを貯め、図書カードなどに交換することができます。

【登録者数】

	28年度	29年度
見込値	500人	1,000人
実績	911人	（8月末時点）1,100人

（２）生涯を通じた健康づくり

■福祉の家 福祉浴優待事業 ＜長寿課＞

高齢者の健康増進を目的に、福祉の家（福祉エリア 2 階）にある温泉施設（歩行浴室・福祉浴室）の年間 10 回無料利用を実施します。

【延べ利用件数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	5,048件	5,250件	5,450件	5,650件
実績	5,016件	4,993件	4,931件	4,640件	4,658件	

■福祉向けあったかあど（赤色） <長寿課>

温泉を利用した健康増進等、交通弱者である高齢者等の社会参加を促進するため、長久手温泉ござらっせ優待、歩行浴室・福祉浴室利用、Nーバスの無料利用及び市内協賛店での特典利用ができるカードを発行します。

【交付総数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	754件	785件	815件	845件
実績	736件	641件	775件	2,250件	1,485件	

※平成22年度に新カードに移行し、カードの有効期間を5年間としているため、平成27年度にカードの更新交付が増加した。

■寝具・洗濯乾燥サービス事業 <長寿課>

要介護3以上の寝たきり高齢者やひとり暮らし高齢者等が快適な生活を送れるよう、布団や毛布を自宅まで回収に行き、洗濯と乾燥を行い、返却します。費用の9割を助成しています。

【延べ利用件数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	52件	55件	57件	60件
実績	66件	62件	55件	68件	100件	

■訪問理美容サービス <長寿課>

要介護3以上の寝たきりの高齢者や重度の身体障がい者等、理美容店に行くことが困難な高齢者等に対し、自宅訪問による理美容サービスを実施するとともに、受けたサービス費用を助成します。（1回につき3,000円を助成。年間6回以内）

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	24人	26人	28人	30人
実績	26人	19人	22人	26人	21人	

②介護予防事業の推進

■要支援の可能性のある人の把握と介護予防事業への活動参加促進 <長寿課>

（①二次予防事業対象者把握事業）

新しい総合事業の対象者となる高齢者を把握するため、要介護認定者を除く一般高齢者を対象に、基本チェックリスト※を使った判定を実施し、介護予防事業を優先すべき高齢者への活動参加を促進します。

【基本チェックリスト回答率】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	75.3%	76.8%	78.3%	-
実績	84.5%	76.3%	75.4%	72.8%	77.0%	実施なし

■転倒予防教室（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

転倒の不安があり、効果的に筋力アップを希望している人向けに、マシン等による筋力トレーニングを実施します。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	399人	405人	410人	415人
実績	369人	238人	399人	325人	277人	

■アクア教室（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

腰や膝に痛みがある、体重が多い等、陸上での運動の負担が大きい人向けに、温泉水の効用や水による浮力等を利用して水中歩行、水中運動等を行います。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	461人	466人	471人	476人
実績	438人	490人	468人	503人	490人	

■歩行浴インストラクター指導（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

水中歩行のワンポイントアドバイスをを行います。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	60人	62人	64人	67人
実績	49人	39人	57人	49人	44人	

■栄養改善教室（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

体重が減ってしまった人、食事がおいしく摂れなくなってしまった人向けに、低栄養予防を中心とした食生活全般の講話相談等を実施します。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	28人	33人	38人	43人
実績	15人	56人	27人	22人	36人	

■口腔ケア教室（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

口がよく渇く人、むせることが多い人、固い物が噛めなくなった人向けに、口腔機能向上の講話、実技等を行います。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	100人	104人	108人	112人
実績	83人	79人	108人	88人	84人	

■あったか昼食会（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

身体を動かすことが少ない人や外出が少なく閉じこもり気味の人向けに、体操や運動、創作、昼食会等を行います。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	306人	318人	330人	342人
実績	311人	333人	279人	279人	300人	

■回想法教室〔認知症予防：脳の活性化教室〕（②通所型介護予防事業） ＜長寿課＞

物忘れが気になる人向けに、幼少や若かった頃のできごとを回想しながら語り合うおはなし会を実施します。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	92人	95人	99人	103人
実績	53人	126人	92人	80人	133人	

■いきいき倶楽部（⑥地域介護予防活動支援事業） ＜長寿課＞

市内の各地域にある老人憩の家や集会所にて、身体を動かすことが少ない人や外出が少なく閉じこもりがちな人向けに、体操や創作活動を行います。新規の開催場所を募り、より多くの高齢者に参加いただけるように広報等で周知に努めます。29年度時点で10か所で開催しています。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	1,329人	1,379人	1,429人	1,479人
実績	1,191人	1,267人	1,261人	1,357人	1,485人	

(3) 生きがいつくりの推進

■高齢者文化施設優待事業 <長寿課>

高齢者が美術、芸術に親しむことで社会的視野を広め、生涯学習活動を促進し、生きがいが得られるよう、また、市内の芸術文化施設を気軽に利用できるよう、名都美術館、トヨタ博物館における入館料を助成します。あったかあど提示による利用により、利便性を向上させます。

【延べ参加人数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	943人	980人	1,020人	1,060人
実績	935人	1,045人	961人	1,255人	1,034人	

■生きがい活動型デイサービス <長寿課>

ひとり暮らし高齢者、後期高齢者世帯等を対象に、高齢者の閉じこもり予防や生きがいのある生活、社会参加を目的として、デイサービスセンターに送迎し、日常動作訓練や趣味活動、食事等を行います。平成29年3月から「総合事業」を開始したことにより、本事業は廃止しました。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	3人	4人	5人	6人
実績	3人	3人	3人	3人	8人	廃止

■長生学園 <長寿課>

高齢者の外出促進と生きがいつくりを目的に行っています。県外への日帰り親睦旅行を開催しており、毎年約400人の参加があります。また、閉じこもり防止を目的として、地域包括支援センターが実施していた「社協まめ会」や「かがやきの会」は、「総合事業」の一般介護予防事業（いきいきライフパーティー）に移行しました。

【実施回数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	23回	23回	23回	23回
実績	4回	23回	22回	22回	22回	

■高齢者外出促進事業 <長寿課>

高齢者の外出や移動を支援し外出機会を増やすことで、閉じこもりを防止し、生きがいを得られるようにするため、リニモカード（平成 28 年度からマナカチャージ券）の交付を行います。また、高齢者の運転免許証の自主返納を促すため、自主返納者へのマナカチャージ券（5,000 円分）の交付を開始しました。

【交付枚数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	3,439件	3,580件	3,750件	3,850件
実績	3,417件	3,519件	3,576件	4,151件	5,015件	

◆高齢者生涯学習講座の開催 <長寿課>

高齢者の健康増進、生きがいづくり、教養の向上を目的に、運動や教養、創作活動といった高齢者生涯学習講座を福祉の家で実施しています。平成 25 年度から平成 27 年度までは社協が実施していましたが、平成 28 年度からは市（長寿課）が事業を実施しています。

【参加者数、開催講座数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	-	-	459人 25講座	373人 34講座
実績	339人 26講座	-	-	-	381人 25講座	

■シニアクラブ <長寿課>

シニアクラブの会員確保に向けた支援を行い、活動の活性化を図るとともに、子どもの登下校時の見守りや清掃活動、交通安全活動等への協力等、地域におけるボランティア活動を実施しています。

地域づくりへの参画を目的に、高齢者同士の交流、スポーツ、児童館や福祉施設でのサロン活動（体操教室、健康麻雀等）を実施します。今後は活動の周知を図ります。

【会員数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	1,435人	1,490人	1,550人	1,610人
実績	1,553人	1,481人	1,435人	1,521人	1,532人	
団体数	21団体	20団体	21団体	22団体	21団体	

基本目標 2

「住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みづくりと暮らしを守る対策の推進」の実績

(2) 在宅医療・介護連携の取組推進

■在宅医療介護連携事業 <長寿課>

「愛・ながくて夢ネット」として、医師と介護職の顔の見える会議の開催等を行い、連携体制の整備を行います。地域包括ケアシステムの一部を担う、在宅医療と介護職等の連携を円滑にするため、電子連絡帳の導入等を推進します。

【電子連絡帳に掲載された累積記事数】

	27年度	28年度	29年度
見込値	5,000件	12,000件	20,000件
実績	8,161件	15,823件	

(3) 日常生活への支援

■紙おむつ助成金の支給事業 <長寿課>

認知症や寝たきり状態の要介護2以上で、常時紙おむつが必要な人で介護保険施設に入所していない高齢者（本人所得200万円未満）に対し、紙おむつ助成金（1年間で5万円を限度に購入金額の9割）を支給し、家族介護者の経済的な負担の軽減を図ります。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	119人	125人	130人	135人
実績	120人	128人	138人	183人	162人	

■家族介護慰労金支給事業 <長寿課>

在宅要介護認定者のうち、要介護4又は要介護5で、介護保険サービスを利用せず1年以上自宅で介護している同居家族に対し、10万円の家族介護慰労支給金を支給します。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	1人	1人	1人	1人
実績	0人	0人	0人	0人	0人	

■家事援助型ホームヘルパー派遣事業 <長寿課>

家事等が困難で、日常生活を営むのに支障があるひとり暮らし高齢者や後期高齢者世帯（要介護認定にて非該当判定、もしくは、要介護認定申請中の方）に対し、家事援助を行うホームヘルパーを派遣します。「総合事業」を平成 29 年 3 月から開始したことにより、本事業は廃止しました。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	3人	4人	5人	6人
実績	8人	3人	4人	2人	5人	廃止

（４）暮らしを守る地域の取組

■ワンコインサービス事業 <長寿課>

在宅の高齢者が抱える草取りや電球の取替え等、毎日の暮らしのちょっとしたお困りごとを、事前登録のある人（サービス提供者）がワンコイン（100 円又は 500 円）でお手伝いします。

平成 29 年 3 月から、調整役を外部委託により充実させ、利用者とサービス提供者の迅速かつ円滑なマッチングを行う体制を作っています。

【延べ利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	97人	105人	115人	125人
実績	-	40人	65人	119人	186人	

■食の自立支援事業 <長寿課>

買物や調理等が困難で、日常生活に支障があるひとり暮らし高齢者等の健康保持や食生活の改善、安否確認をするため、昼食の弁当宅配を行い、栄養管理と配達員の手渡しによる安否確認を行います。また、利用者に対して年 2 回のアセスメントを行い、サービス利用の適正化を図ります。平成 26 年 10 月から土曜日及び日曜祝日の昼食宅配を開始し、平成 29 年 4 月から宅配業者を複数社から選択できるようにし、昼食だけでなく夕食の選択もできるようにして、利用者の食生活の改善を図っています。安否確認と宅配料として、1 食 300 円を市が負担しています。

【利用数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	157人 22,832食	180人 30,200食	205人 34,100食	230人 38,600食
実績	94人 15,226食	114人 15,116食	147人 24,915食	149人 32,424食	146人 33,276食	

■緊急通報システム事業 <長寿課>

ひとり暮らし高齢者、後期高齢者世帯、重度身体障がい者を対象に緊急通報システムを設置し、利用者からの通報、相談を随時受け付けられる体制を整備します。また、月1回通報センターから利用者へ電話での安否確認を行います。平成25年度にモバイル版を導入し、固定電話をお持ちでない世帯もサービスの利用が可能になっています。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	134人	145人	155人	165人
実績	113人	124人	142人	160人	174人	

■高齢者等家具転倒防止事業 <長寿課>

地震時のタンスや書棚等の転倒による人的被害の発生を防止するため、家具転倒防止器具の設置にかかる費用を助成します。平成26年度までは同一世帯につき4組を上限として助成していましたが、平成27年度からは上限を撤廃し、家具転倒防止器具設置費用の9割を助成して、さらなる被害発生の防止を図っています。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	6人	10人	13人	15人
実績	7人	5人	3人	12人	11人	

■高齢者防犯対策事業

高齢者世帯への侵入盗等による犯罪被害を防止するため、自宅の玄関、勝手口、裏庭等にセンサーライトを設置する費用の9割を助成し、空き巣被害を防止します。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	18人	20人	22人	25人
実績	10人	11人	11人	8人	15人	

(5) 認知症対策の推進

■徘徊高齢者等家族支援事業 <長寿課>

徘徊癖の見られる認知症の高齢者等を介護する家族が安心して介護できる環境づくりを目的に、ペンダント型の無線発信機を貸し出し、徘徊時の迅速な位置探索、保護を行います。地域包括支援センターやケアマネジャーと連携し、徘徊の可能性のある人や家族に本事業の周知を行います。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	3人	4人	6人	8人
実績	3人	2人	2人	3人	5人	

■認知症家族支援プログラム <長寿課>

「認知症家族支援プログラム」の開催により、認知症高齢者を介護する家族等の介護知識及び技術の習得を促進するとともに、介護者間の交流により精神的な負担軽減を図ります。

【実施状況】

平成 28 年度開催（参加者 15 人）、その前は平成 24 年度に開催。

■「キャラバン・メイト養成研修」の充実 <長寿課>

地域において認知症に関する正しい理解を深め、支援を充実できるよう、県の実施する「キャラバン・メイト養成研修」を活用し、キャラバン・メイトの養成を図ります。また、キャラバン・メイトに、認知症サポーター養成講座の講師役として、地域での講座の開催に向けた支援をすることにより、認知症サポーターの養成も図ります。

【実施状況】

平成 27 年度 1 回実施

■「認知症サポーター養成講座」の充実

認知症の事を正しく理解し、認知症の人やその家族を温かく見守る認知症サポーターの養成を行います。市民、小中学生、地域の事業者を対象として「認知症サポーター養成講座」を行い、認知症の人や、その家族が安心して暮らせるまちづくりを行います。

【講座受講者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	1,500人	1,500人	1,500人	1,500人
実績	1,702人	1,448人	1,428人	1,474人	1,582人	

■行方不明高齢者保護ネットワークの拡充 <長寿課>

「長久手市地域包括支援センター行方不明高齢者保護ネットワーク」による協力機関との連携により、徘徊高齢者を迅速かつ安全に保護します。また、愛知警察署や「長久手市防災情報ネットワーク（安心メール）」との連携や情報共有により、速やかな搜索と早期発見を図ります。

【状況】

平成 28 年 12 月から、長久手市防災情報ネットワーク（安心メール）と統合して運用

(6) 高齢者を取り巻く環境の整備

■高齢者住宅改修事業 <長寿課>

高齢者が安心して在宅で生活できるよう、住宅改修費補助金を支給し、手すりの設置や床の段差解消改修等、自宅のバリアフリー化を促進します。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
見込値	-	-	6人	7人	8人	10人
実績	8人	7人	5人	10人	15人	

■高齢者日常生活用具給付事業 <長寿課>

寝たきりやひとり暮らし高齢者等を対象に、日常生活の自立支援を目的に、「高齢者日常生活用具給付事業」を推進し、介護保険のメニューにない電磁調理器の購入費に対する給付を行います。平成29年度からは、高齢者住宅改修事業の中で、電磁調理器の改修ができるように、事業内容を変更しました。

【利用者数】

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
見込値	-	-	1人	1人	1人
実績	0人	0人	2人	1人	0人